



海運や流通学ぶ 仙台塩釜港で学外実習

港灣施設を見学する渡邊ゼミ生

インフラの整備や運営について経済学的な見地から研究する経営・渡邊ゼミは11月12日、仙

台市の仙台塩釜港で学外実習を行った。2、3年

次生12人が参加し、海運や物流、国土交通省が取り組む港湾整備事業について理解を深めた。

ゼミ生はスリーエム仙台港パーク展望台、高砂コンテナターミナルを訪れ、戦後東北の物流を支えてきた同港の歴史、設

備について国交省東北地方整備局の職員から説明を聞き、熱心にメモを取った。実習の後半は小型船舶「翔洋」に乗船。寄港中の旅客船やコンテナ船、穀物・飼料サイロ、発電所などの施設を海上から見学した。

岩館美佳さん（経営2・青森県八戸東高）は「多くのコンテナがあり、巨大なクレーンや運搬車を活用して作業する様子は

迫力があった。コンテナが流通を支えていることを実感した」と話し、鈴木拓人さん（経営2・群馬県太田東高）は「今後は流通がどのように経済に結びついていくのかを学んでいきたい」と語った。

また渡邊ゼミは21日から23日までの日程で、苫小牧港（北海道苫小牧市）を訪ね、仙台塩釜港（青森県八戸東高）は「多

くコンテナがあり、巨大なクレーンや運搬車を活用して作業する様子は

迫力があった。コンテナが流通を支えていることを実感した」と話し、鈴木拓人さん（経営2・群馬県太田東高）は「今後は流通がどのように経済に結びついていくのかを学んでいきたい」と語った。

また渡邊ゼミは21日から23日までの日程で、苫小牧港（北海道苫小牧市）を訪ね、仙台塩釜港（青森県八戸東高）は「多

くコンテナがあり、巨大なクレーンや運搬車を活用して作業する様子は

迫力があった。コンテナが流通を支えていることを実感した」と話し、鈴木拓人さん（経営2・群馬県太田東高）は「今後は流通がどのように経済に結びついていくのかを学んでいきたい」と語った。

また渡邊ゼミは21日から23日までの日程で、苫小牧港（北海道苫小牧市）を訪ね、仙台塩釜港（青森県八戸東高）は「多

くコンテナがあり、巨大なクレーンや運搬車を活用して作業する様子は

迫力があった。コンテナが流通を支えていることを実感した」と話し、鈴木拓人さん（経営2・群馬県太田東高）は「今後は流通がどのように経済に結びついていくのかを学んでいきたい」と語った。

また渡邊ゼミは21日から23日までの日程で、苫小牧港（北海道苫小牧市）を訪ね、仙台塩釜港（青森県八戸東高）は「多

くコンテナがあり、巨大なクレーンや運搬車を活用して作業する様子は

迫力があった。コンテナが流通を支えていることを実感した」と話し、鈴木拓人さん（経営2・群馬県太田東高）は「今後は流通がどのように経済に結びついていくのかを学んでいきたい」と語った。

石巻専修大学

「石巻専修大学」ホームページ
https://www.senshu-u.ac.jp/isinomaki/

石巻専修大学
広報係
☎986-8580
宮城県石巻市
南境新水戸1番地
☎0225-22-7717（直）

30th
1989-2019
ISHINOMAKI SENSU University

経営・渡邊ゼミ

地域のためにできることを 自動車工学コース15人 台風被災者支援

硬式野球部90人

地域のために今できることを。多大な被害をもたらした台風15号、19号の被災者を支援するボランティア活動に本学の多くの学生が取り組んでいる。

作業は11月20日から3日間、本学の自動車工学センターで行われた。山田泰地さん（理工4・福島県石川高）は「車両ごとに走行距離や年数が異なるため、それに合わせた整備を心掛けた。今回の経験を生かし、今後も

参加。被災地で使われる車両52台の点検、整備、タイヤ交換などの作業に取り組んだ。

理工学部機械工学科の自動車工学コースで学ぶ3、4年次生15人は、一般社団法人日本カーシェアリング協会が実施する学生整備プロジェクトに

参加。被災地で使われる車両52台の点検、整備、タイヤ交換などの作業に取り組んだ。

理工学部機械工学科の自動車工学コースで学ぶ3、4年次生15人は、一般社団法人日本カーシェアリング協会が実施する学生整備プロジェクトに

経営・3年次生チーム

ふるさとCM大賞に出品

メディアコンテンツ制作に取り組む経営学部3年次生の6人が石巻市をPRするCM作品「Deer deer 金華山」を制作し、「2019みやぎふるさとCM大賞」（東日本放送主催）に出品した。

作品は佐藤香伽さん（人間4・岩手県一関第一高）が主演を務め、石巻市の島・金華山を舞台に、同市の魅力を30秒で表現。「石巻へ 金華山へ おいでよ」のメッセージで結ばれている。

チームリーダーの佐藤優輔さん（経営3・宮城県佐沼高）が、監督・脚本・撮影・編集の4役をこなした。「金華山には

野生の鹿がいて、金蓮の御利益がある黄金山神社があり、自然が楽しめる。その良さを映像と音楽でどう表現していくか、時間をかけて考えた」と語った。

佐藤香伽さんは「頂上からの景色を撮るために、山を登るのが大変だったが、出来上がった作品はその疲れを忘れるくらい、良いものになったと思う。多くの方にみてほしい」と話した。作品はYouTubeのISUMU（石巻専修大学チャンネル）で閲覧することができる。

発表審査会の模様は来年1月3日（金）、東日本放送で放映される。

発表審査会の模様は来年1月3日（金）、東日本放送で放映される。

発表審査会の模様は来年1月3日（金）、東日本放送で放映される。

発表審査会の模様は来年1月3日（金）、東日本放送で放映される。

発表審査会の模様は来年1月3日（金）、東日本放送で放映される。

発表審査会の模様は来年1月3日（金）、東日本放送で放映される。

発表審査会の模様は来年1月3日（金）、東日本放送で放映される。

CMのワンシーン



金華山黄金山神社

地域のためにできることを

自動車工学コース15人

台風被災者支援

硬式野球部90人

地域のために今できることを。多大な被害をもたらした台風15号、19号の被災者を支援するボランティア活動に本学の多くの学生が取り組んでいる。

作業は11月20日から3日間、本学の自動車工学センターで行われた。山田泰地さん（理工4・福島県石川高）は「車両ごとに走行距離や年数が異なるため、それに合わせた整備を心掛けた。今回の経験を生かし、今後も

参加。被災地で使われる車両52台の点検、整備、タイヤ交換などの作業に取り組んだ。

理工学部機械工学科の自動車工学コースで学ぶ3、4年次生15人は、一般社団法人日本カーシェアリング協会が実施する学生整備プロジェクトに

参加。被災地で使われる車両52台の点検、整備、タイヤ交換などの作業に取り組んだ。

理工学部機械工学科の自動車工学コースで学ぶ3、4年次生15人は、一般社団法人日本カーシェアリング協会が実施する学生整備プロジェクトに

参加。被災地で使われる車両52台の点検、整備、タイヤ交換などの作業に取り組んだ。

理工学部機械工学科の自動車工学コースで学ぶ3、4年次生15人は、一般社団法人日本カーシェアリング協会が実施する学生整備プロジェクトに

参加。被災地で使われる車両52台の点検、整備、タイヤ交換などの作業に取り組んだ。

理工学部機械工学科の自動車工学コースで学ぶ3、4年次生15人は、一般社団法人日本カーシェアリング協会が実施する学生整備プロジェクトに

参加。被災地で使われる車両52台の点検、整備、タイヤ交換などの作業に取り組んだ。

理工学部機械工学科の自動車工学コースで学ぶ3、4年次生15人は、一般社団法人日本カーシェアリング協会が実施する学生整備プロジェクトに

参加。被災地で使われる車両52台の点検、整備、タイヤ交換などの作業に取り組んだ。

理工学部機械工学科の自動車工学コースで学ぶ3、4年次生15人は、一般社団法人日本カーシェアリング協会が実施する学生整備プロジェクトに

参加。被災地で使われる車両52台の点検、整備、タイヤ交換などの作業に取り組んだ。

理工学部機械工学科の自動車工学コースで学ぶ3、4年次生15人は、一般社団法人日本カーシェアリング協会が実施する学生整備プロジェクトに

参加。被災地で使われる車両52台の点検、整備、タイヤ交換などの作業に取り組んだ。

理工学部機械工学科の自動車工学コースで学ぶ3、4年次生15人は、一般社団法人日本カーシェアリング協会が実施する学生整備プロジェクトに

参加。被災地で使われる車両52台の点検、整備、タイヤ交換などの作業に取り組んだ。

理工学部機械工学科の自動車工学コースで学ぶ3、4年次生15人は、一般社団法人日本カーシェアリング協会が実施する学生整備プロジェクトに

丁寧に整備に取り組む学生



流入した土砂をかき出す硬式野球部員



社会に貢献していききたい」と話した。

◆

台風19号で1万棟を超える住宅が浸水被害にあった石巻市。「困っている人の手助けができないか」と硬式野球部の90人

参加。被災地で使われる車両52台の点検、整備、タイヤ交換などの作業に取り組んだ。

理工学部機械工学科の自動車工学コースで学ぶ3、4年次生15人は、一般社団法人日本カーシェアリング協会が実施する学生整備プロジェクトに

参加。被災地で使われる車両52台の点検、整備、タイヤ交換などの作業に取り組んだ。

理工学部機械工学科の自動車工学コースで学ぶ3、4年次生15人は、一般社団法人日本カーシェアリング協会が実施する学生整備プロジェクトに

参加。被災地で使われる車両52台の点検、整備、タイヤ交換などの作業に取り組んだ。

理工学部機械工学科の自動車工学コースで学ぶ3、4年次生15人は、一般社団法人日本カーシェアリング協会が実施する学生整備プロジェクトに

参加。被災地で使われる車両52台の点検、整備、タイヤ交換などの作業に取り組んだ。

理工学部機械工学科の自動車工学コースで学ぶ3、4年次生15人は、一般社団法人日本カーシェアリング協会が実施する学生整備プロジェクトに

参加。被災地で使われる車両52台の点検、整備、タイヤ交換などの作業に取り組んだ。

理工学部機械工学科の自動車工学コースで学ぶ3、4年次生15人は、一般社団法人日本カーシェアリング協会が実施する学生整備プロジェクトに

参加。被災地で使われる車両52台の点検、整備、タイヤ交換などの作業に取り組んだ。

理工学部機械工学科の自動車工学コースで学ぶ3、4年次生15人は、一般社団法人日本カーシェアリング協会が実施する学生整備プロジェクトに

参加。被災地で使われる車両52台の点検、整備、タイヤ交換などの作業に取り組んだ。

理工学部機械工学科の自動車工学コースで学ぶ3、4年次生15人は、一般社団法人日本カーシェアリング協会が実施する学生整備プロジェクトに

参加。被災地で使われる車両52台の点検、整備、タイヤ交換などの作業に取り組んだ。

理工学部機械工学科の自動車工学コースで学ぶ3、4年次生15人は、一般社団法人日本カーシェアリング協会が実施する学生整備プロジェクトに

参加。被災地で使われる車両52台の点検、整備、タイヤ交換などの作業に取り組んだ。

理工学部機械工学科の自動車工学コースで学ぶ3、4年次生15人は、一般社団法人日本カーシェアリング協会が実施する学生整備プロジェクトに

参加。被災地で使われる車両52台の点検、整備、タイヤ交換などの作業に取り組んだ。

理工学部機械工学科の自動車工学コースで学ぶ3、4年次生15人は、一般社団法人日本カーシェアリング協会が実施する学生整備プロジェクトに

中国・東北電力大学と交流協定

石巻専修大学は、中国の交流などを目的とした東北電力大学（吉林省 国際交流協定を締結し吉林省）と学生、教員間。本学の国際交流協定（ジンニア州）に次いで3校目。東北電力大学は1949年創立の長春電機高級職業学校を前身に、現在は機械工、電気工、外国語など15学部を擁する総合大学。

10月23日、水野純国際交流センター長（理工学部教授）と輪田直子人間学部教授が同大を訪問。蔡国偉学長、韓樹民国際交流センター長らと懇談し、協定書を交わした。その後、外国語学部日本

蔡学長と協定書を手に握手を交わす水野センター長（左）

蔡学長と協定書を手に握手を交わす水野センター長（左）

蔡学長と協定書を手に握手を交わす水野センター長（左）

蔡学長と協定書を手に握手を交わす水野センター長（左）

蔡学長と協定書を手に握手を交わす水野センター長（左）

蔡学長と協定書を手に握手を交わす水野センター長（左）

蔡学長と協定書を手に握手を交わす水野センター長（左）

英語で地域の魅力発信 人間文化学科で新講義



地域の魅力を発表する渡部さん（中央）のグループ

目黒志帆美助教が担当する人間学部人間文化学科の2年次必修科目「英語D」では、英語で地域の魅力を発信することを目的とした新たな講義が今年度から行われている。

11月13日には、「英語で地域を学び、その魅力を伝えよう」をテーマに、授業内で発表会を行った。

学生たちは8グループに分かれ、宮城県の各地域（石巻、仙台、松島、東松島、塩釜、大崎、白石、蔵王）について調査した。風土、観光、歴史、文化などの資料を読み込み、英文でポスターを作製した。発表、質疑応答もすべて英語で行った。

渡部晃士さん（人間2・茨城県第一学院高）は「自分が興味あることを学ぶため、主体的に取り組んでいる。発表では普段使わない単語を使うので、語彙力が向上した。英語が話せることは武器なので、もっと学んでいきたい」と話した。

昇太さん（経営1・宮城県石巻商業高）が3位と、1年次生コンビの活躍が光り、初の2部昇格を勝ち取った。

加藤悠河部長（理工3・秋田県角館高）は「優勝を目標に一射一射、丁寧に射ることを心がけた。日ごろの練習が実り、結果を残すことができてうれしい」と喜んだ。

加藤悠河部長（理工3・秋田県角館高）は「優勝を目標に一射一射、丁寧に射ることを心がけた。日ごろの練習が実り、結果を残すことができてうれしい」と喜んだ。

加藤悠河部長（理工3・秋田県角館高）は「優勝を目標に一射一射、丁寧に射ることを心がけた。日ごろの練習が実り、結果を残すことができてうれしい」と喜んだ。

加藤悠河部長（理工3・秋田県角館高）は「優勝を目標に一射一射、丁寧に射ることを心がけた。日ごろの練習が実り、結果を残すことができてうれしい」と喜んだ。

加藤悠河部長（理工3・秋田県角館高）は「優勝を目標に一射一射、丁寧に射ることを心がけた。日ごろの練習が実り、結果を残すことができてうれしい」と喜んだ。

加藤悠河部長（理工3・秋田県角館高）は「優勝を目標に一射一射、丁寧に射ることを心がけた。日ごろの練習が実り、結果を残すことができてうれしい」と喜んだ。

加藤悠河部長（理工3・秋田県角館高）は「優勝を目標に一射一射、丁寧に射ることを心がけた。日ごろの練習が実り、結果を残すことができてうれしい」と喜んだ。

加藤悠河部長（理工3・秋田県角館高）は「優勝を目標に一射一射、丁寧に射ることを心がけた。日ごろの練習が実り、結果を残すことができてうれしい」と喜んだ。

加藤悠河部長（理工3・秋田県角館高）は「優勝を目標に一射一射、丁寧に射ることを心がけた。日ごろの練習が実り、結果を残すことができてうれしい」と喜んだ。

加藤悠河部長（理工3・秋田県角館高）は「優勝を目標に一射一射、丁寧に射ることを心がけた。日ごろの練習が実り、結果を残すことができてうれしい」と喜んだ。

加藤悠河部長（理工3・秋田県角館高）は「優勝を目標に一射一射、丁寧に射ることを心がけた。日ごろの練習が実り、結果を残すことができてうれしい」と喜んだ。

加藤悠河部長（理工3・秋田県角館高）は「優勝を目標に一射一射、丁寧に射ることを心がけた。日ごろの練習が実り、結果を残すことができてうれしい」と喜んだ。

加藤悠河部長（理工3・秋田県角館高）は「優勝を目標に一射一射、丁寧に射ることを心がけた。日ごろの練習が実り、結果を残すことができてうれしい」と喜んだ。

弓道部 初優勝

東北秋季学生 3部リーグ戦

第59回東北地区秋季学生弓道大会の3部リーグ戦（10月27日、仙台市・宮城県武道館）で弓道部が初優勝を遂げた。

的中数で菊池哲さん（経営1・岩手県盛岡誠

桜高）が個人2位、村上

桜高）が個人2位、村上